

#45 小学校から中学校へ

ニューポートニュース補習授業校（アメリカ）

【小学部の取り組み】

当校では、小学部と中学部それぞれの学年で、各学期に学力テストを実施することになっています。各年度末に担当教員および保護者が協議を行い、進級が難しいと教員が判断した生徒については、その年の運営委員会が進級に関しての判断を下します。小学部から中学部への進学も、教員が進級は難しいとの判断をした場合の最終決定は運営委員会に委ねることになっています。教員側の判断をサポートするのは各教科の評価内容（3段階）はもちろんです、口頭での説明も必要になります。

そのため、教員の主観による判断が少しでも確かなものになるようにと、数年前から、生徒引継ぎ個票を共同使用しています。生徒の在学中は、毎年度末に「生徒の引継ぎ」を前学年と次学年の教員とで実施するのですが、その時に、前学年の教員が一年間の生徒の様子などを書き入れて、次学年の教員に引き渡すようにしています。そうすることによって、生徒の成長過程や一貫性のある問題対応が見て取れるので、教員側の憶測や勘違いで対処が遅れる心配も減りましたし、運営側の理解を得る期待も持てるようになりました。

【生徒進級のめやす】

個々の生徒の背景に関わらず、学校開設の目的に沿った学習ができることを前提にしています。数値による「学力の基準」だけで判断できないのは、補習校が家庭学習の補完授業をする場所であるため、「生徒の学習意識」と「家庭学習の実態」も合わせ見てから、継続的に学習することができる生徒であると思える場合は、次学年の教員と運営側にもよく相談した上で判断するようになります。

添付資料：

20 x x 年度用生徒引継ぎ（生徒個票）